

圓滿寺だより

第98号

2025年4月

陽春の候

うるわしくお念仏ご相続のことと

大慶に存じあげます



圓滿寺 住職 棘 惠浄
副住職 棘 惠真



法座の御案内



野田村廿一人討死證如上人御消息披露法要

日時 5月8日(木) 午後1時半

講師 本願寺派布教使 小林 顕英 先生

講題 「ほとけはつねに」

圓滿寺設立のきっかけとなった「野田村廿一人討死」(1532年)を現在まで約500年近く伝承している法要です。この由緒ある法要に、どうぞご門徒の皆様、お誘い合わせ御参詣下さいませ。法要に先立ち12時半より討死記念碑前(玉川コミュニティセンター横)にて勤行いたします。併せてお参り下さい。



【圓滿寺 〒553-0004 大阪市福島区玉川4-4-25 TEL 06-6441-2791】

圓滿寺院主(住職)携帯番号 090-5150-0946

HP(ホームページ)URL <https://fukusima-enmanji.org>



ごじょくあくじぐんじょうかい おうしんにょらいによじつごん
五濁悪時群生界 応信如来如実言



この度はお正信偈様のお言葉を頂きました。私たちが生きる世の中は、「五濁悪世(ごじょくあくせ)」と言われていています。五濁とは、「時代のけがれ、思想の乱れ、煩惱が盛んになること、人々の資質が低下すること、人々の命が次第に短くなること」の5つです。最後の命が短くなることは、「命濁(みょうじょく)」と言いますが、これは、命が短くなるというよりも、命が蔑ろにされることと言えるでしょう。



昨今の報道にありました、鳥インフルエンザの拡散を防ぐために、何十万羽もの鶏が殺処分されたというニュースが流れたことを記憶している方も多いと思います。人間の都合によって、多くの命が奪われていることが現実です。そして今、私たち自身の命もそのように扱われているということに私たちは気付く必要があります。こうした時代だからこそ、御釈迦様のお言葉に返っていかねばなりません。



それは、「自己こそが自分の主(あるじ)である」ということです。これは自分勝手に行動するという意味ではありません。どんなに他人が寄り添ってくれたり、助けてくれたりしても自分の老いや病、死は誰も代わることは出来ず、自分が引き受けていかねばならないものです。そして、同時に苦からの解放の道である仏教も自分事として受け止めることが大切だと示されているのです。だからこそ、本当に大切なのは「南無阿弥陀仏」であり、御釈迦様の残された真実のお言葉です。お互い様に「南無阿弥陀仏」を拠り所として、み教えを聞き開き、時代の波に流されないようにしたいものですね。

年に6回ある法要にはご講師がわかりやすくみ教えを取り次いでくださいます。どうぞ御参詣くださいませ。称名。【副住職】



●大谷本廟(西大谷)納骨について●

大谷本廟(西大谷)への納骨を御希望の方は住職までお申し出下さい。所属寺住職が記入した申込書が必要です。事務所に記入した申込書とご遺骨を持参いただき納骨手続きをして下さい。

大谷本廟受付時間 平日 9時～15時半 土・日・祝日は 8時半～15時半

車での参詣は駐車場が混雑することもあり極力お避け下さい。春秋彼岸・お盆等は駐車場は閉鎖されます。疑問点等は住職まで。または大谷本廟へ直接お尋ね下さい。

大谷本廟 〒605-0846 京都市東山区五条橋東 6-51A



TEL 075-531-4171

●永代経について●

永代経について教えてほしいと最近よく尋ねられます。



永代経とは、永代に読経すること。お経は仏さまの教えで、お弟子さんに説かれました。

亡くなった方のためでなく、生きているわたしたちに説かれたもので、亡き方を縁としてわたしたちの生き方を聞かせていただくのです。そのため、お念仏のみ教えを永代にわたって受け継がれる法要を営むことが出来るように懇志を進納されるのです。お寺の記念法要に向けてや、お寺の護持に役立ててもらいたい、と上納されることが多いです。

また最近では少し意味合いが違いますが、御自身が法事等勤めることが出来なくなっても、寺院で法事等の仏事を勤めてもらいたいと永代経というかたちで納められる方もいらっしゃいます。圓滿寺でも、ここ数年こういったケースが増加しています。

進納懇志については住職にご相談ください。なお、圓滿寺では、春秋彼岸に永代法要を勤修し、進納者の子孫や縁故者に法要参詣を御案内しております。



門信徒の広場



えんまんじCafeについて



4月8日(火)は花まつり。また5月21日(水)は親鸞聖人のお生まれをお祝いする降誕会です。今年はこの4月5月にダーナ活動を実施しようと思います。

ダーナとは仏教語で「布施」(施し)のことで、法施(真実の仏法を伝え広める)・財施(金品を分かち合う)・無畏施(恐れを除き、癒しと勇気を与える)・無財の七施(思いやり、ささえあうところ)などに分かれます。なかでも無財の七施は、いつでも、どこでも、だれでも、自分のできる範囲で実践できるもので、思いやりのある生き方を示すものです。

その一環としてクラフトバンド作品等を販売します。ご購入いただいた金額は津村別院、本願寺を通して寄付されます。ダーナ活動を知っていただだけでも、是非よろしく願いいたします。

無財の七施

1. 眼 施(あたたかいまなざし)
2. 和顔悦色施(にこやかな表情)
3. 言辞施(やさしい言葉)
4. 身 施(精一杯のおこない)
5. 心 施(慈しみ深いこころ)
6. 床座施(人にあたたかい席を)
7. 房舎施(気持ちよく迎えるところがけ)

下記の方々がお浄土に往生されました。謹んでお念仏もうしあげます。

- 1・25 瓜生 貴彦 様 (北区)
- 2・27 甘田 智子 様 (大開2)
- 3・ 5 岡田 美和子 様 (芦屋市)



◆新役員御紹介◆

昨年11月の幾田寿役員の御逝去に伴い欠員となっていました役員に、新たに森畑哲洋様(此花区)に就任いただきました。現役員森畑通夫様の弟様です。

役員の中で最も若いフレッシュな方で、圓滿寺のヨガ教室にも通っておられます。併せて、奥様の敬子様にも婦人会会員となっただき、お世話いただくこととなりました。

これまで、圓滿寺の法座や本願寺参拝等にお参りいただいておりますが、お二人共々今後とも宜しくお願いいたします。

院主携帯番号 (緊急時に)

090-5150-0946



ホームページ インスタグラム

スマートフォン等のカメラより上記のQRコードを読み込んで下さい。
インスタグラムではDMも送れます。



★ご門徒のお店紹介★



第一回目は「お好み焼き・みどり」です。お店は福島区野田2丁目で大野町通りに面しており、圓滿寺門徒・井上幸子さんとお姉様の二人で切り盛りされています。

父上が御存命の時は、父上手作りのアイスキャンディーが有名でした。私も夏季に参詣した時新聞紙にくるんで「持って帰り」と手渡しいただいたことを懐かしく思い出します。

お好み焼きも焼きソバもソースの味がしみ込み、とても美味です。拙寺でも時々テイクアウトしております。ご近所の方は是非一度お立ち寄り下さい。



「お好み焼き・みどり」 福島区野田2丁目16-22

営業時間 11:00~18:00 日・祝 休み



◆春季彼岸会永代経法要◆

三寒四温、ちょっと寒い中での法要厳宗でした。貴島信行先生により「大悲のころ」と題して御法話いただきました。

自分が供養する、しているんだと思っ
ていても、実は阿弥陀様と亡き方々のお
慈悲に導かれてお念仏申す身にお育て
いただいているのだとお聞かせくださいま
した。

法要の詳しい内容は
是非ホームページを
御覧下さいませ。



▼ えんまん旅行 ▼



今年第24回圓滿寺研修旅行は6月2
日(火)に日帰りで京都の浄土宗西山派本
山光明寺(親鸞聖人の師である法然上人
のご遺骨が納められた寺院)、黄檗宗総本
山萬福寺(中国様式の精進料理をいただ
きます)、一休さんゆかりの臨済宗大徳派
一休寺(蓮如上人とともに植えられた三本
杉がある寺院)に参拝いたします。

詳しくはホームページに掲載、または月
忌参りで配布しています。気になる方は是
非お声掛け下さい。



写真コーナー



12月16日
集い



12月31日
除夜の鐘



1月1日
修正会



1月4日
納骨堂おつとめ



1月9日
えんまんじC a f e



1月10日
団体参拝 (本願寺)



1月13日
御頭参り (本願寺)



1月16日
初法座



2月7日
役員新年会



2月9日
えんまんじC a f e



2月16日
第1回ワークショップ



3月9日
えんまんじC a f e



3月16日
第2回ワークショップ



3月20日
春季彼岸会永代経法要



どなたでも参加出来る行事ばかりです。

どうぞ圓滿寺へお越しくださいませ(*^▽^*)